

反映状況票

(単位:百万円)

省庁名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	元年度予算額	2年度予算案	増▲減額	反映額
経済産業省	(29) 省エネルギー投資促進に向けた支援等補助金等のうち事務費	本省	—	5,920	6,797	877	▲269
事案の概要	経済産業省では、省エネルギー投資促進のため、その費用の一部を補助する9つの事業を実施している。こうした補助事業は執行団体を通じて事業者に交付されるが、執行団体は経済産業省から補助費のほかに補助金交付に係る事務費が交付されている。今回の調査は、その事務費の透明性が確保されているかを把握するものである。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 予算執行の透明性の確保

- ・1件当たり費用の水準や各年度における変動要因が合理的なものであるかどうかなどについて、より精緻に分析することが可能となるよう、執行団体において1件ごとの審査にかかわる費用の積上げを詳細に行うことで、予算執行の透明性の確保を図るべきではないか。
- ・詳細な積上げによっても、1件当たりの費用が高額となる場合は、費用対効果も踏まえて、事務手続が簡便となるような制度設計を検討するべきではないか。

2. 実績を踏まえた予算積算

- ・予算の執行実績も踏まえ、各経費の性質に応じて、件数に連動する経費は申請件数に応じて積算を行い、システム運営費などの固定費は、過年度の決算実績を踏まえた積算を行い、実績を踏まえた予算積算とすべきではないか。

3. 執行団体の業務改善の取組みについて

- ・補助金の制度改正などにも柔軟に対応する必要にも配慮しつつ、執行団体における業務の改善の取組として、例えば1件当たりの事務費の目標を定めるなど、業務効率化に向けた取組を検討するべきではないか。
- ・多くの事業で執行団体が同一であったことも踏まえ、公募申請の際に前年度に対する改善点を求める等、効率的な事業運営を行う仕組みを検討するべきではないか。

反映の内容等

1. 予算執行の透明性の確保

- ・執行団体において、1件ごとの審査にかかわる費用の積上げを詳細に行い、その合理性を確認することにより、予算執行の透明性の確保を図るとともに、人数・時間などの変動要因等が明らかになるよう積算を行った。

2. 実績を踏まえた予算積算

- ・費用の積算を行う際に、各数値の過年度の実績を踏まえ、積算を行った。
- ・予算額に応じて増減するような費用については、事業者ヒアリング調査等を実施し令和2年度の申請予定件数に応じた予算積算を行った。

3. 執行団体の業務改善の取組みについて

- ・執行団体において、マニュアルの整備等により業務プロセスの定型化・簡素化を行うことを通じて業務の効率化を図り、システム運用費や広告作成等に係る費用、人件費等の削減を行った。(反映額:▲269百万円)
- ・公募申請の際に、業務効率化に向けた取組を検討することを求める。
- ・執行コスト削減のため、オンライン申請システムの導入等を進めている。